



アンケート結果



昨秋(10月16日から10月21日)に、相原病院(患者サービス向上委員会)では、病院を利用されている皆様の率直なご意見を頂きたく、アンケートを実施致しました。一週間と限られた期間ではございましたが、多数のご意見を頂く事が出来ました。ご協力誠にありがとうございました。皆様から頂いたご意見、ご質問を紹介いたします。

- Q. 診察待ち時間が長く、待っているだけで疲れてしまいます。**
- A. 待ち時間に関しては、診察内容にも係わりますので時間短縮だけを目指す事が出来ず、申し訳ありません。当院では診察までの時間の目安がつきやすい様、番号札と診察進行札を活用しております。また待ち時間に利用して頂ける様、図書コーナーの設置を致しておりますのでご利用下さい。
- Q. 診察を予約制にしたらどうですか？**
- A. 予約制については反対の意見も頂いており、予約制の利点・欠点を整理しなくてはならないと思っております。診察の順番を取るために朝早くから並んで下さっている方には本当に申し訳ありませんが、当院としても慎重に検討を進めていきたいと思います。
- Q. 玄関前の駐車場がいつも混んでいて駐車できません。**
- A. 大変ご迷惑をお掛けしております。お手数ですが、病院前駐車場の他、第2駐車場をご用意しております。お気軽にご利用下さい。
- Q. 感染予防のためアルコール清拭をして欲しい。**
- A. 現在、朝・夕の2回、ロビーの椅子や手が触れる場所について蛋白阻害剤(制菌作用のある薬剤)を用いて清拭をしています。また手指消毒剤を入退院受付に設置しておりますので、ご自由にお使い下さい。
- Q. リハビリ室にロッカーが欲しい。**
- A. ご意見ありがとうございます。今後ロッカーが設置できるよう、検討していきたいと思っております。
- Q. リハビリ室で希望する事に応じてもらえない事があります。**
- A. 原則として医師の指示のもと、リハビリのプログラムを行いますので、その場でのご希望にはそえない場合がございます。ご了承下さい。リハビリについてのご要望がある場合は主治医・リハビリスタッフへご相談下さい。
- Q. 通所リハビリの送迎車両は車によって乗りづらいものがある。**
- A. 車両によって手すりや広さなど異なります。数年ごとに車は変えておりますが、利用者様によっては乗りづらい車もあると思います。出来る限り安全面に配慮していきたいと思っております。

今後も「かけはし」では、この度お寄せ頂いたご意見に対し回答していく予定です。

また、病院に対しての要望やご意見等がございましたら、ロビー中央に設置しております投書箱でも受付しておりますので、ご利用下さい。



メタボリックシンドロームってなに？

最近では飽食、運動不足により内臓脂肪が蓄積し、高血圧症・高脂血症・糖尿病など複数の生活習慣病を合併する人が増えています。このような状態を**メタボリックシンドローム**と呼びます。これらの病気はお互いが密接な関係をもって発生しており、多く合併するほど**動脈硬化**を促進して**脳梗塞**や**心筋梗塞**などを起こしやすくなります。日頃から食生活の改善や適度な運動を行い、メタボリックシンドロームの予防対策をしましょう。

メタボリックシンドロームの診断基準

内臓脂肪蓄積 ウエスト周囲径 男性85cm以上 * 女性90cm以上 + 以下のうち2項目以上
(内臓脂肪面積100平方cm以上に相当)



血清脂質異常

トリグリセリド値150mg/dL以上
HDLコレステロール値40mg/dL未満
のいずれか、又は両方

血圧高値

最高(収縮期)血圧130mmHg以上
最低(拡張期)血圧85mmHg以上
のいずれか、又は両方

高血糖

空腹時血糖値
110mg/dL以上

花粉症ってどんな病気？

花粉症は、植物の花粉によって起こるアレルギー性の病気です。樹木や草花の花粉が飛ぶ季節に、花粉が目や鼻の粘膜に付着することで症状が現れます。原因となる植物は、様々ですが、その代表的なものはスギです。花粉症は、遺伝的な体質・住環境・食生活などの様々な要因が重なって起こります。花粉症かな？と思ったときは、専門医による診断を受けましょう。



花粉症の症状

主な症状・・・くしゃみ、鼻水、鼻づまり、目・のど・顔の首や皮膚のかゆみ
その他の全身症状・・・集中力の低下、だるい、熱っぽい、倦怠感、イライラする

花粉症の治療

アレルギー性疾患である花粉症は、短期間で完治させることはできません。それでも、薬でつらい症状を少しでも楽にすることができます。

内服薬・・・内服薬には、くしゃみ、鼻水、鼻づまりなどの原因となるヒスタミンをおさえる成分がはいっています。鼻・目・のどなどそれぞれに働いて、花粉症のつらい症状をやわらげます。内服薬には効き目が長く持続するよう工夫された薬もあります。

点鼻薬・・・鼻水、鼻づまりを速やかにとめることができます。また、鼻の粘膜の充血やはれをおさえ、鼻のとおりを良くします。

目薬・・・目のかゆみや充血をやわらげます。

花 粉 の シ ー ズ ン を 迎 え た ら

～ 《外出する時》花粉を吸い込まないことが基本 ～

風の強い晴れた日は、外出を控えめに

特に、昼前から午後3時頃までが花粉の飛ぶピーク。この時間帯だけでも、なるべく室内にいたいものです。

プロテクター付のメガネやゴーグル・マスク・スカーフ・帽子をする

髪をコンパクトにまとめ、花粉が髪につかないように

家に入る前は玄関先で、衣服や髪・持ち物についた花粉をはらう

帰ったら、手・顔・目・鼻を洗い、うがいをする

かけはし Vol.2 2006.冬

発行/相原病院 患者サービス向上委員会

発行日/2007年2月

〒229-1101 神奈川県相模原市相原5-12-5

医療法人財団 明理会 相原病院

ホームページ www.ims.gr.jp/aihara

TEL : 042-772-3100